



# 募集案内



Vo.141  
2018/4/1

## 2018年 交換留学生大募集！

藤枝市では、世界の様々な人や文化に触れ合う機会を作り、藤枝から世界に羽ばたく人材の育成を進めています。あなたも、交換学生として、姉妹都市のオーストラリア・ペンリス市&韓国・ヤンジュ市の学生と交流して、世界を学んでみませんか。

オーストラリア・ペンリス市

韓国・ヤンジュ市

### 対象

藤枝市内在住または  
藤枝市内の高校に通学する  
高校生 [新1年 - 3年生]

### 対象

藤枝市内在住または  
藤枝市内の高校に通学する  
高校生 [新1年 - 3年生]

### 派遣期間

7月下旬 - 8月中旬 [3週間]

### 派遣期間

8月上旬 - [1週間]

### 受け入れ期間

9月中旬 - 10月上旬 [3週間]

### 受け入れ期間

7月下旬 - [1週間]

### 派遣人数

6人程度

### 派遣人数

7人程度

### 滞在所

ペンリス市のホストファミリー

### 滞在所

ヤンジュ市のホストファミリー

### 自己負担額

約10万円

### 自己負担額

なし

(保険・お小遣いを除く)

(保険・お小遣いを除く)

事前説明会：4/14 [土] 13:30～ 会場/藤枝市生涯学習センター第2会議室

※事前に事務局へ連絡後、保護者同伴でご出席ください

申し込み：応募書類は事前説明会で配布します

HPからもダウンロードできます

締め切り：事務局持参・郵送ともに5月9日 [水]

選考試験：5/19 [土] 13:30～ 会場/藤枝市文化センター



藤枝市国際友好協会では、平成30年度(2018年4月～2019年3月)の会員を募集しています。当協会は、外国人の人々とお互いの国民性や習慣を語り合い、誰もが気軽に参加できる国際交流を目指しています。皆さんも会員になって、様々な国の人たちとの触れ合いを楽しみませんか？

また、未来を担う学生を対象にした交換学生事業に皆さまからの会費を使わせて頂いております。事業にご賛同頂ける方のご入会をお待ちしております。

詳細は別紙をご覧ください。



## facebook

始めました！いいね👍  
よろしくお願いします！



## 語学講座受講生大募集！

5月から始まる語学講座受講生を募集いたします。今年度からは新しい講師としてオランダ人のキンセラ・バリース先生が来てくださいました。キンセラ先生には、初級I & 新講座「いろんなシーンで英会話」を担当していただきます。面白く、ためになる講座になること間違いなし！是非皆様ご応募下さい。詳細は別紙をご覧ください。



## 平成30年度に向かつてのご挨拶

藤枝市国際友好協会会長 後藤 彰

本年度は藤枝市国際友好協会が創立して34年目となります。オーストラリア・ペンリス市とは姉妹都市になって34年目を迎え、韓国・楊州市とは9年目を迎えることになりました。国内では石川県白山市との交流を始めて34年が経ち、それぞれの都市との交流親善を年月を掛けて深めて参りました。

当協会は未来に向かつて行政と一体となって教育・文化・芸術・スポーツ・経済と様々な分野で市民レベルでの交流の絆を強め、国際交流事業の推進に力強く努力をする所存です。

現在、交換学生事業を通じて数多くの若者達が国際的な場で活躍しており、この事業が多大な成果を上げたものと思っております。国際交流事業により、国際的に飛躍できる学生を育て、藤枝市、ペンリス市、楊州市の発展に寄与する人材が生まれることを期待しております。

30年度も会員の皆様の一層のご協力、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

## 平成30年度 藤枝市国際友好協会総会

平成30年度藤枝市国際友好協会総会を、下記のとおり開催致します。29年度の事業報告・会計報告および30年度の事業計画・予算等を審議していただきます。総会終了後、引き続き交流会を行います。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

同封のハガキに総会の出欠、交流会の出欠、総会を欠席される方は委任状に押印のうえ**4月20日(金)**までにご返信ください。

日時：5月12日 [土]

午前 11:00～午後 12:15 総会

会場：藤枝市文化センター1階大ホール

午後 12:30～午後 14:00 交流会  
(立食パーティ形式・無料)

[藤枝市国際友好協会事務局] AM9:00 - PM4:00

〒 426-0034

藤枝市駅前2-1-5

文化センター2F

☎ 054-270-3232

☎ 054-646-3330

✉ fifs1984@cup.ocn.ne.jp

🌐 <https://fifsinfo.jimdo.com/>







# 世界の国と文化を知ろうが 開催されました。

2月25日（日）青島北地区交流センターにて毎年恒例の「世界の国と文化を知ろう」が開催されました。藤枝市内外から約100名の方々にご参加いただきました。ご参加下さいました皆様、講師の皆様、ボランティアの皆様、ありがとうございました。参加者の感想・交流会の様子をご紹介します！



## グアテマラ/エドウィン・ベガさん

Guatemala Culture and Traditions というテーマで、主に英語、時々スペイン語で話していただきました。私はグアテマラの予備知識はほとんど持たない状態で参加しました。先住民はマヤ文明で栄え、今でも遺跡が残っているそうです。スペインの植民地となりその後独立。公用語はスペイン語ですが、それ以外にマヤ系の言語が21も使われているそうです。コーヒーが特産で、活火山があり、温泉もあるけれど、大きな地震も起きるとのことでした。「グアテマラは、日本のようにそれぞれの人が持つ可能性を十分に伸ばせる環境ではない」とお話しされている途中で、国のことを思い出して、ベガさんが声を詰まらせる場面がありました。後に知ったことですが、1960年から36年間も内戦が続き、1996年にやっと和平合意がなされたようです。しかし、まだまだ困難な状況もあるようで、グアテマラの人々が安定した政治のもとで安心して生活でき、可能性を十分に伸ばしていける日が来ることを願わずにはられません。



## アメリカ/谷口ジョイさん



先ず先生は、子供たちのための絵本を何冊も見せてくれました。そのはなしの中で日本の浦島太郎はアメリカの子供たちには全く関心ひかないということでした。なぜなら子供達のははッピーエンドでなければならぬからとのことでした。子供の頃から浦島太郎はとてもなじみ深い話でしたから意外なアメリカの一面を見た思いがしました。アメリカという国が多民族をはじめとする人種のつぼと学んできました。そんな中でアメリカの人々が多くの移民を受け入れ、激しい競争の中で、アメリカ人としての誇りを持ち、アメリカが自由と平等の旗のもとにイギリスから独立後何百年も輝かしい発展を遂げているものは何だろうと思っていました。その一面は、厳しい契約社会と、子供たちの教育の中にハッピーエンドの思想があることを先生のお話から伺いました。若い頃私は、「何で契約などという面倒なことをするのだろう」と思っていました。日本の単一文化との違いの一面を、まのあたりに見た感じがしてアメリカを理解するうえでとても有意義で、さらに今後の私たちが世界の人々を理解するうえでもとても重要なことを学びました。ありがとうございました。

## マラウイ共和国/保志弘幸さん

マラウイ共和国？名前も場所もわからないけどそういう国もあるんだと、興味津々話を聞いた。アフリカ南東部の内陸にある国だとわかった。JICAの指導員として、3年間大自然の中で現地の人たちを指導するのは大変な事だと思った。雨季と乾季では同じ場所でも景色が全然違う。水を引くために灌漑用水路を作ったり、反対に洪水防止の水路をつくる。これらも重機などないので、全部手作り。鮮やかな色をした野菜、果物。自然そのもの～なんかオトギの国へ行ったみたいだった。



## イタリア/アタナス・イバさん



私は、日本に来てから1年3か月で初めて外国人が自国について話す講座を聞く機会を得ることができたので、今日はこのイベントに参加できて嬉しいです。イタリア講師アタナスさんがとてもエネルギーと熱意にあふれていたため、講座はとても興味深く楽しかったです。私が気づいたことは「私たちは多様な世界の中に住んでいて、外国の文化やバックグラウンドからたくさん学ぶことができる」ということです。私は残りの日本滞在期間にもこのようなイベントに参加してみたいと思います。素晴らしいイベントを開催して頂きありがとうございました。

## スリランカ/ベレーラ・サミタさん

楽しいお話ありがとうございました。インド洋の真珠の旅を長いことあこがれていました。特にシギリヤへ。汽車の旅があることも知ることができました。豊かな光を自然に恵まれた美しい国。いつかは行ってみたいです。華やかな宝石も見てみたいです。様々な熱帯果実を味わってみたいです。当時のスリランカ大統領はサンフランシスコ条約で敗戦国日本に対して惻隱の情を示してくださったとか。ありがたいことだったと思いました。講師のサミタさんの日本語が素晴らしかったこと！イッテユチ！



## インドネシア/ヨザ・アディダヤさん



経済の発展がすごいインドネシア、親日の国民が多いが、経済は中国に頼っている。そして、中国人も増えている。まじめな国民性は宗教を大事にして必ず指定された宗教に入ることが義務である。講師のヨザさんは県庁に勤める前はノルウェーの大使館に勤め、ノルウェーの大学院を卒業した。日本が大好きで専攻は日本語、日本人のような会話・楽しいトークでインドネシアに行ってみたくなった。どんな国の人も国を愛する気持ちは同じ。いい講座でした。